

## 令和4年度(前期) 球美中学校 学校評価

生徒・保護者・職員ともに4段階で評価。「4:そう思う」「3:ややそう思う」の肯定的な評価をつけた人の割合が69%以下を課題、80%以上を成果としてとらえ、分析考察を行っています。

**成果:** 生徒・保護者・教師ともに80%以上の項目 ※項目24, 25, 26, 27, 28は、生徒項目には無し  
項目1、5、6、7、12、26、27、28(集計結果参照)

**課題:** 生徒・保護者・教師ともに69%以下の項目はないが課題と思う項目

2. 「環境整備や整理整頓を行い学習環境を整えている」についての生徒と保護者は、高評価だが、職員の評価が低い。 →【総】
8. 「授業内容が理解されている」について、生徒と保護者は低評価になっている。 →【知】
9. 「学習規律を守っている」と11. 「毎日の家庭学習をきちんと行っている」については、生徒と教師に意識の差を感じる。 →【知】
13. 「私は、毎日元気な声で心をこめたあいさつをしている」は、生徒と職員の評価が低い。 →【徳】
14. 「球美中はいじめのない学校」について、保護者は高評価である一方、生徒の評価は低い。 →【徳】
16. 「体力テストの結果から何を鍛えればいいのかわかる」について、生徒と教師の評価に差がある。 →【体】
19. 「私は、保護者と自分の将来の夢や希望について話し合っている」は、保護者・職員は高評価であるが、生徒の数値は低い。 →【家】
22. 地域の行事やボランティア活動に積極的に参加していないと答える生徒は55%。 →【郷】

### 課題への対応

【知】 生徒の現状をしっかりと把握し、特にB評価に達していない生徒への手立てとともに全生徒が自分の成長を感じ取る指導を行う。(キャリアパスポートも活用)

学習規律と家庭学習については、再度確認を行い、教師の達成してほしい目標を伝えることが必要と思われる。

【徳】 あいさつは、なぜ必要なのかを考えさせ、生徒が中心となってあいさつを活性化できるような取組が必要である。

また、「いじめ防止のための基本方針」に則り、全職員でいじめの基本認識を共通理解し、未然防止と早期発見・解消に取り組むとともに、いじめが認知された場合の的確な早期対応に組織体制で取り組み、生徒が安全で安心して学校生活を送れる様に努力する。

【体】 体力テストの結果を生徒に再認識させ、中学生期に必要な体力(特に持久力系)を付けることで、将来健康に過ごすことができることを説明し運動習慣を身に付けさせる。

【郷】 コロナ禍でさまざまな体験活動が縮小しているが、できる活動を積極的に行い、生徒一人一人が持続可能な地域社会の創り手となるよう資質・能力を確実に育てていく。

【家】 家庭で生徒が、自分の将来の夢や希望について話せるように、保護者へのいろいろな情報提供を行い、学校と家庭地域の連携推進を図る。

【総】 学習環境の整備について、教師間で再度何が必要なのかを話し合うことが必要である。